

第4章 資料

1 単純集計結果表

◎結果数値（パーセント＝％）は、小数第2位を四捨五入して第1位まで表示しています。

問1 あなたの性別をお知らせください。

		度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
有効	①男性	693	43.0%	43.2%	43.2%
	②女性	912	56.6%	56.8%	100.0%
	合計	1605	99.6%	100.0%	
欠損値	不明	7	0.4%		
合計		1612	100.0%		

問2 あなたが生まれた年をお知らせください。（記入年から年代へ置き換え）

		度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
	20歳代	6	0.4%	0.4%	0.4%
	30歳代	426	26.4%	27.8%	28.1%
	40歳代	907	56.3%	59.1%	87.2%
	50歳代	176	10.9%	11.5%	98.7%
	60歳以上	20	1.2%	1.3%	100.0%
	合計	1535	95.2%	100.0%	
欠損値	不明	77	4.8%		
合計		1612	100.0%		

問3 あなたのお住まいの地域はどこですか。（記入市町村から地区へ置き換え）

		度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
	東青地区	350	21.7%	21.7%	21.7%
	西北地区	191	11.8%	11.8%	33.6%
	中南地区	352	21.8%	21.8%	55.4%
	上北地区	277	17.2%	17.2%	72.6%
	下北地区	61	3.8%	3.8%	76.4%
	三八地区	381	23.6%	23.6%	100.0%
	合計	1612	100.0%	100.0%	
欠損値	不明	0	0.0%		
合計		1612	100.0%		

問4 本調査票を持ってきたお子さんの学年をお知らせください。

		度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
	①小学校5年生	856	53.1%	53.1%	53.1%
	②中学校2年生	756	46.9%	46.9%	100.0%
	合計	1612	100.0%	100.0%	
欠損値	不明	0	0.0%		
合計		1612	100.0%		

問5 本調査票を持ってきたお子さんからみて、あなたの続柄は何ですか。

		度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
	①父	683	42.4%	42.6%	42.6%
	②母	903	56.0%	56.3%	98.9%
	③祖父	7	0.4%	0.4%	99.4%
	④祖母	5	0.3%	0.3%	99.7%
	⑤おじ・おばなど	5	0.3%	0.3%	100.0%
	合計	1603	99.4%	100.0%	
欠損値	不明	9	0.6%		
合計		1612	100.0%		

問6 あなたは現在、パートやアルバイトを含め、収入を伴う仕事をされていますか。

		度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
	①している（働いている）	1416	87.8%	88.2%	88.2%
	②していない（働いていない）	189	11.7%	11.8%	100.0%
	合計	1605	99.6%	100.0%	
欠損値	不明	7	0.4%		
合計		1612	100.0%		

問7 あなたの現在の職業は、大きく分けて、次のどれにあたりますか。

		度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
	①会社経営者・役員	70	4.3%	4.9%	4.9%
	②会社員（契約社員や派遣社員を含む）、団体職員	660	40.9%	46.6%	51.6%
	③公務員	193	12.0%	13.6%	65.2%
	④自営業、家族従事者	127	7.9%	9.0%	74.2%
	⑤臨時雇用・パート・アルバイト・内職	342	21.2%	24.2%	98.4%
	⑥その他	23	1.4%	1.6%	100.0%
	合計	1415	87.8%	100.0%	
欠損値	働いていない	189	11.7%		
	不明	8	0.5%		
合計		1612	100.0%		

問8 あなたを含めて、ご家族は何人ですか。

	度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
1人	1	0.1%	0.1%	0.1%
2人	35	2.2%	2.2%	2.3%
3人	175	10.9%	10.9%	13.2%
4人	566	35.1%	35.4%	48.6%
5人	411	25.5%	25.7%	74.3%
6人	214	13.3%	13.4%	87.6%
7人	142	8.8%	8.9%	96.5%
8人	38	2.4%	2.4%	98.9%
9人	11	0.7%	0.7%	99.6%
10人	4	0.2%	0.3%	99.8%
11人	3	0.2%	0.2%	100.0%
合計	1600	99.3%	100.0%	
欠損値	不明	12	0.7%	
合計	1612	100.0%		

問9-1 あなたのご家族はどなたですか。あなたから見た続柄であてはまる番号をすべて選んでください。

	度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
①配偶者	1394	33.3%	33.3%	33.3%
②実父	251	6.0%	6.0%	39.3%
③実母	336	8.0%	8.0%	47.4%
④義父	187	4.5%	4.5%	51.8%
⑤義母	258	6.2%	6.2%	58.0%
⑥兄弟姉妹	83	2.0%	2.0%	60.0%
⑦子ども	1597	38.1%	38.2%	98.2%
⑧その他	76	1.8%	1.8%	100.0%
合計	4182	99.8%	100.0%	
欠損値	不明	7	0.2%	
合計	4189	100.0%		

問9-2 問9-1で〈子ども〉を選択した子どもの人数

	度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
1人	232	14.5%	14.6%	14.6%
2人	833	52.2%	52.5%	67.2%
3人	450	28.2%	28.4%	95.5%
4人	53	3.3%	3.3%	98.9%
5人	11	0.7%	0.7%	99.6%
6人	5	0.3%	0.3%	99.9%
7人	2	0.1%	0.1%	100.0%
合計	1586	99.3%	100.0%	
欠損値	不明	11	0.7%	
合計	1597	100.0%		

問10-1 一緒に住んでいない家族がいたら、あてはまる番号をすべて選んでください。

	度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
①配偶者	62	1.8%	2.2%	2.2%
②実父	490	14.2%	17.2%	19.4%
③実母	602	17.5%	21.2%	40.6%
④義父	377	10.9%	13.3%	53.9%
⑤義母	473	13.7%	16.6%	70.5%
⑥兄弟姉妹	575	16.7%	20.2%	90.7%
⑦子ども	194	5.6%	6.8%	97.5%
⑧その他	70	2.0%	2.5%	100.0%
合計	2843	82.5%	100.0%	
欠損値	不明	601	17.5%	
合計	3444	100.0%		

問10-2 問10-1で〈子ども〉を選択した子どもの人数

	度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
1人	110	56.7%	59.5%	59.5%
2人	61	31.4%	33.0%	92.4%
3人	8	4.1%	4.3%	96.8%
4人	1	0.5%	0.5%	97.3%
5人	2	1.0%	1.1%	98.4%
6人	1	0.5%	0.5%	98.9%
8人	2	1.0%	1.1%	100.0%
合計	185	95.4%	100.0%	
欠損値	不明	9	4.6%	
合計	194	100.0%		

問11-1 あなたの家族の中で、平日や休日に主に子育てに関わっている人は誰ですか。【平日】

	度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
①父	45	2.8%	3.5%	3.5%
②母	1071	66.4%	83.2%	86.7%
③祖父母、おじ・おばなど	171	10.6%	13.3%	100.0%
合計	1287	79.8%	100.0%	
欠損値	その他・無回答	325	20.2%	
合計	1612	100.0%		

問11-2 あなたの家族の中で、平日や休日に主に子育てに関わっている人は誰ですか。【休日】

	度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
①父	130	8.1%	11.7%	11.7%
②母	933	57.9%	83.8%	95.4%
③祖父母、おじ・おばなど	51	3.2%	4.6%	100.0%
合計	1114	69.1%	100.0%	
欠損値	498	30.9%		
合計	1612	100.0%		

問12-1 あなたは、平日や休日に子どもとふれあう時間はどれくらいありますか。【平日】

	度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
①1時間未満	235	14.6%	14.7%	14.7%
②1～2時間未満	368	22.8%	23.0%	37.7%
③2～3時間未満	335	20.8%	21.0%	58.7%
④3～4時間未満	291	18.1%	18.2%	76.9%
⑤4時間以上	369	22.9%	23.1%	100.0%
合計	1598	99.1%	100.0%	
欠損値	14	0.9%		
合計	1612	100.0%		

問12-2 あなたは、平日や休日に子どもとふれあう時間はどれくらいありますか。【休日】

	度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
①1時間未満	74	4.6%	4.6%	4.6%
②1～2時間未満	114	7.1%	7.1%	11.8%
③2～3時間未満	179	11.1%	11.2%	23.0%
④3～4時間未満	178	11.0%	11.1%	34.1%
⑤4時間以上	1052	65.3%	65.9%	100.0%
合計	1597	99.1%	100.0%	
欠損値	15	0.9%		
合計	1612	100.0%		

問13-1 本調査票を持ってきたお父さんは、朝食や夕食を誰と一緒に食べる事が多いですか。【平日】

	度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
①家族全員と	472	29.3%	30.3%	30.3%
②家族のどれか大人と	651	40.4%	41.8%	72.0%
③兄弟姉妹だけで	240	14.9%	15.4%	87.4%
④子どもひとりで	172	10.7%	11.0%	98.5%
⑤食べない	24	1.5%	1.5%	100.0%
合計	1559	96.7%	100.0%	
欠損値	53	3.3%		
合計	1612	100.0%		

問13-2 本調査票を持ってきたお父さんは、朝食や夕食を誰と一緒に食べる事が多いですか。【休日】

	度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
①家族全員と	855	53.0%	55.4%	55.4%
②家族のどれか大人と	620	38.5%	40.2%	95.5%
③兄弟姉妹だけで	42	2.6%	2.7%	98.3%
④子どもひとりで	23	1.4%	1.5%	99.7%
⑤食べない	4	0.2%	0.3%	100.0%
合計	1544	95.8%	100.0%	
欠損値	68	4.2%		
合計	1612	100.0%		

問14-1 あなたは、どのような家庭教育（子育て）支援があればよいと思いますか。あればよいと思う順に、あてはまる番号を2つ選んでください。【一番目にあればよい支援】

	度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
①親の役割やしつけの仕方などを学ぶ講座や研修会	136	8.4%	8.6%	8.6%
②子どもとの体験や交流を取り入れた講座や研修会	267	16.6%	16.9%	25.5%
③子どもの家庭での学習習慣を身に付けさせる場や機会	257	15.9%	16.3%	41.8%
④子育て中の親と親になれる場や機会	26	1.6%	1.6%	43.5%
⑤地域の人と親しくなる場や機会	39	2.4%	2.5%	45.9%
⑥身近で気軽に相談できる場や機会	66	4.1%	4.2%	50.1%
⑦家庭訪問し、相談や話し相手になってほしい	9	0.6%	0.6%	50.7%
⑧家庭教育（子育て）についての情報が知りたい	35	2.2%	2.2%	52.9%
⑨子どもが安全安心に過ごせる場所	467	29.0%	29.6%	82.5%
⑩子どもを預かってくれる場所	42	2.6%	2.7%	85.2%
⑪地域みんなで子育てする社会環境	95	5.9%	6.0%	91.2%
⑫特にない	139	8.6%	8.8%	100.0%
合計	1578	97.9%	100.0%	
欠損値	34	2.1%		
合計	1612	100.0%		

問14-2 あなたは、どのような家庭教育（子育て）支援があればよいと思いますか。あればよいと思う順に、あてはまる番号を2つ選んでください。【二番目にあればよい支援】

	度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
①親の役割やしつけの仕方などを学ぶ講座や研修会	74	4.6%	5.0%	5.0%
②子どもとの体験や交流を取り入れた講座や研修会	171	10.6%	11.6%	16.7%
③子どもの家庭での学習習慣を身に付けさせる場や機会	178	11.0%	12.1%	28.8%
④子育て中の親と親しくなる場や機会	40	2.5%	2.7%	31.5%
⑤地域の人と親しくなる場や機会	52	3.2%	3.5%	35.1%
⑥身近で気軽に相談できる場や機会	61	3.8%	4.2%	39.2%
⑦家庭訪問し、相談や話し相手になってほしい	12	0.7%	0.8%	40.0%
⑧家庭教育（子育て）についての情報が知りたい	73	4.5%	5.0%	45.0%
⑨子どもが安全安心に過ごせる場所	263	16.3%	17.9%	62.9%
⑩子どもを預かってくれる場所	114	7.1%	7.8%	70.7%
⑪地域みんなで子育てする社会環境	279	17.3%	19.0%	89.7%
⑫特にない	152	9.4%	10.3%	100.0%
合計	1469	91.1%	100.0%	
欠損値	その他・無回答	143	8.9%	
合計		1612	100.0%	

問15-1 家庭教育について知りたい情報はどんなことですか。知りたい順にあてはまる番号を2つ選んでください。【一番目に知りたい情報】

	度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
①子どものしつけ	204	12.7%	13.0%	13.0%
②子どもの体の健康・発達	137	8.5%	8.7%	21.7%
③子どもの心の健康・発達	336	20.8%	21.4%	43.1%
④いじめ・不登校・ひきこもり	133	8.3%	8.5%	51.6%
⑤子どもの性	14	0.9%	0.9%	52.5%
⑥子どもへの虐待	2	0.1%	0.1%	52.6%
⑦子どもとのコミュニケーション	55	3.4%	3.5%	56.1%
⑧子どものほめ方・叱り方	322	20.0%	20.5%	76.6%
⑨携帯電話やインターネットのこと	163	10.1%	10.4%	87.0%
⑩講座、研修会に関すること	21	1.3%	1.3%	88.3%
⑪相談窓口	12	0.7%	0.8%	89.1%
⑫子どもや親の交流の場	31	1.9%	2.0%	91.0%
⑬特にない	141	8.7%	9.0%	100.0%
合計	1571	97.5%	100.0%	
欠損値	その他・無回答	41	2.5%	
合計		1612	100.0%	

問15-2 家庭教育について知りたい情報はどんなことですか。知りたい順にあてはまる番号を2つ選んでください。【二番目に知りたい情報】

	度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
①子どものしつけ	117	7.3%	8.1%	8.1%
②子どもの体の健康・発達	120	7.4%	8.3%	16.4%
③子どもの心の健康・発達	227	14.1%	15.7%	32.0%
④いじめ・不登校・ひきこもり	138	8.6%	9.5%	41.6%
⑤子どもの性	32	2.0%	2.2%	43.8%
⑥子どもへの虐待	12	0.7%	0.8%	44.6%
⑦子どもとのコミュニケーション	76	4.7%	5.2%	49.9%
⑧子どものほめ方・叱り方	300	18.6%	20.7%	70.6%
⑨携帯電話やインターネットのこと	176	10.9%	12.2%	82.7%
⑩講座、研修会に関すること	30	1.9%	2.1%	84.8%
⑪相談窓口	18	1.1%	1.2%	86.0%
⑫子どもや親の交流の場	69	4.3%	4.8%	90.8%
⑬特にない	133	8.3%	9.2%	100.0%
合計	1448	89.8%	100.0%	
欠損値	その他・無回答	164	10.2%	
合計		1612	100.0%	

問16-1 あなたは、家庭教育に関する情報をどのように得ていますか。得ている順にあてはまる番号を2つ選んでください。【一番目に得ている情報】

	度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
①家族から	458	28.4%	29.0%	29.0%
②友人から	319	19.8%	20.2%	49.2%
③近所の人から	17	1.1%	1.1%	50.3%
④ポスター・チラシ	5	0.3%	0.3%	50.6%
⑤テレビ・ラジオ	158	9.8%	10.0%	60.6%
⑥新聞	40	2.5%	2.5%	63.1%
⑦雑誌・書籍	74	4.6%	4.7%	67.8%
⑧回覧板・広報紙	22	1.4%	1.4%	69.2%
⑨インターネット、ホームページ	93	5.8%	5.9%	75.1%
⑩携帯電話、SNS	6	0.4%	0.4%	75.5%
⑪学校から	238	14.8%	15.1%	90.6%
⑫講座や研修会で	13	0.8%	0.8%	91.4%
⑬子育てサークル	2	0.1%	0.1%	91.5%
⑭子育てサポートセンター	2	0.1%	0.1%	91.6%
⑮情報は得ていない	132	8.2%	8.4%	100.0%
合計	1579	98.0%	100.0%	
欠損値	その他・無回答	33	2.0%	
合計		1612	100.0%	

問16-2 あなたは、家庭教育に関する情報をどのように得ていますか。得ている順にあてはまる番号を2つ選んでください。
【二番目に得ている情報】

	度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
①家族から	107	6.6%	7.4%	7.4%
②友人から	298	18.5%	20.5%	27.8%
③近所の人から	37	2.3%	2.5%	30.4%
④ポスター・チラシ	12	0.7%	0.8%	31.2%
⑤テレビ・ラジオ	180	11.2%	12.4%	43.6%
⑥新聞	127	7.9%	8.7%	52.3%
⑦雑誌・書籍	106	6.6%	7.3%	59.6%
⑧回覧板・広報紙	32	2.0%	2.2%	61.8%
⑨インターネット、ホームページ	147	9.1%	10.1%	71.9%
⑩携帯電話、SNS	24	1.5%	1.6%	73.5%
⑪学校から	260	16.1%	17.9%	91.4%
⑫講座や研修会で	22	1.4%	1.5%	92.9%
⑬子育てサークル	4	0.2%	0.3%	93.2%
⑭子育てサポートセンター	0	0.0%	0.0%	93.2%
⑮情報は得ていない	99	6.1%	6.8%	100.0%
合計	1455	90.3%	100.0%	
欠損値	157	9.7%		
合計	1612	100.0%		

問17-1 あなたは、家庭教育に関する情報をどのようにして得たいと感じていますか。得たい順にあてはまる番号を2つ選んでください。【一番目に得たいと感じる情報】

	度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
①家族から	338	21.0%	21.5%	21.5%
②友人から	172	10.7%	11.0%	32.5%
③近所の人から	10	0.6%	0.6%	33.1%
④ポスター・チラシ	13	0.8%	0.8%	34.0%
⑤テレビ・ラジオ	142	8.8%	9.1%	43.0%
⑥新聞	38	2.4%	2.4%	45.4%
⑦雑誌・書籍	69	4.3%	4.4%	49.8%
⑧回覧板・広報紙	43	2.7%	2.7%	52.6%
⑨インターネット、ホームページ	106	6.6%	6.8%	59.3%
⑩携帯電話、SNS	18	1.1%	1.1%	60.5%
⑪学校から	482	29.9%	30.7%	91.2%
⑫講座や研修会で	37	2.3%	2.4%	93.6%
⑬子育てサークル	4	0.2%	0.3%	93.8%
⑭子育てサポートセンター	11	0.7%	0.7%	94.5%
⑮情報は得ていない	86	5.3%	5.5%	100.0%
合計	1569	97.3%	100.0%	
欠損値	43	2.7%		
合計	1612	100.0%		

問17-2 あなたは、家庭教育に関する情報をどのようにして得たいと感じていますか。得たい順にあてはまる番号を2つ選んでください。【二番目に得たいと感じる情報】

	度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
①家族から	84	5.2%	5.7%	5.7%
②友人から	209	13.0%	14.3%	20.0%
③近所の人から	37	2.3%	2.5%	22.5%
④ポスター・チラシ	15	0.9%	1.0%	23.6%
⑤テレビ・ラジオ	139	8.6%	9.5%	33.1%
⑥新聞	119	7.4%	8.1%	41.2%
⑦雑誌・書籍	69	4.3%	4.7%	45.9%
⑧回覧板・広報紙	91	5.6%	6.2%	52.1%
⑨インターネット、ホームページ	140	8.7%	9.6%	61.7%
⑩携帯電話、SNS	39	2.4%	2.7%	64.3%
⑪学校から	332	20.6%	22.7%	87.0%
⑫講座や研修会で	85	5.3%	5.8%	92.8%
⑬子育てサークル	8	0.5%	0.5%	93.4%
⑭子育てサポートセンター	35	2.2%	2.4%	95.8%
⑮情報は得ていない	62	3.8%	4.2%	100.0%
合計	1464	90.8%	100.0%	
欠損値	148	9.2%		
合計	1612	100.0%		

問18-1 子どもを育てるうえで、親にとって特に大切だと思う学習は何ですか。必要だと思う順にあてはまる番号を3つ選んでください。【一番目に必要だと思う学習】

	度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
①基本的な生活習慣の定着	693	43.0%	43.9%	43.9%
②子どもの自立心の育て方	299	18.5%	18.9%	62.8%
③子どもとのコミュニケーションのとり方	299	18.5%	18.9%	81.8%
④親としての生き方	52	3.2%	3.3%	85.1%
⑤夫婦に関すること	7	0.4%	0.4%	85.5%
⑥家族に関すること	20	1.2%	1.3%	86.8%
⑦社会的モラル	99	6.1%	6.3%	93.0%
⑧子どもの発達段階	13	0.8%	0.8%	93.9%
⑨ライフスタイル	4	0.2%	0.3%	94.1%
⑩地域活動	1	0.1%	0.1%	94.2%
⑪自然体験を充実させる方法	10	0.6%	0.6%	94.8%
⑫耐性や適応性を育てるための方法	47	2.9%	3.0%	97.8%
⑬性教育	2	0.1%	0.1%	97.9%
⑭男女共同参画について	2	0.1%	0.1%	98.0%
⑮学校不適応(不登校、ひきこもり、いじめ、心身症など)	8	0.5%	0.5%	98.5%
⑯虐待	2	0.1%	0.1%	98.7%
⑰非行	1	0.1%	0.1%	98.7%
⑱発達障害	6	0.4%	0.4%	99.1%
⑲学習の必要はない	14	0.9%	0.9%	100.0%
合計	1579	98.0%	100.0%	
欠損値 合計	33 1612	2.0% 100.0%		

問18-2 子どもを育てるうえで、親にとって特に大切だと思う学習は何ですか。必要だと思う順にあてはまる番号を3つ選んでください。【二番目に必要だと思う学習】

	度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
①基本的な生活習慣の定着	204	12.7%	13.1%	13.1%
②子どもの自立心の育て方	449	27.9%	28.9%	42.0%
③子どもとのコミュニケーションのとり方	191	11.8%	12.3%	54.3%
④親としての生き方	94	5.8%	6.1%	60.4%
⑤夫婦に関すること	18	1.1%	1.2%	61.6%
⑥家族に関すること	42	2.6%	2.7%	64.3%
⑦社会的モラル	237	14.7%	15.3%	79.5%
⑧子どもの発達段階	47	2.9%	3.0%	82.5%
⑨ライフスタイル	17	1.1%	1.1%	83.6%
⑩地域活動	28	1.7%	1.8%	85.4%
⑪自然体験を充実させる方法	36	2.2%	2.3%	87.8%
⑫耐性や適応性を育てるための方法	135	8.4%	8.7%	96.5%
⑬性教育	12	0.7%	0.8%	97.2%
⑭男女共同参画について	2	0.1%	0.1%	97.4%
⑮学校不適応(不登校、ひきこもり、いじめ、心身症など)	28	1.7%	1.8%	99.2%
⑯虐待	2	0.1%	0.1%	99.3%
⑰非行	6	0.4%	0.4%	99.7%
⑱発達障害	3	0.2%	0.2%	99.9%
⑲学習の必要はない	2	0.1%	0.1%	100.0%
合計	1553	96.3%	100.0%	
欠損値 合計	59 1612	3.7% 100.0%		

問18-3 子どもを育てるうえで、親にとって特に大切だと思う学習は何ですか。必要だと思う順にあてはまる番号を3つ選んでください。【三番目に必要だと思う学習】

	度 数	パーセント	有効パーセント	累計パーセント
①基本的な生活習慣の定着	93	5.8%	6.1%	6.1%
②子どもの自立心の育て方	203	12.6%	13.3%	19.4%
③子どもとのコミュニケーションのとり方	159	9.9%	10.4%	29.9%
④親としての生き方	104	6.5%	6.8%	36.7%
⑤夫婦に関すること	24	1.5%	1.6%	38.3%
⑥家族に関すること	84	5.2%	5.5%	43.8%
⑦社会的モラル	261	16.2%	17.1%	60.9%
⑧子どもの発達段階	46	2.9%	3.0%	63.9%
⑨ライフスタイル	55	3.4%	3.6%	67.5%
⑩地域活動	38	2.4%	2.5%	70.0%
⑪自然体験を充実させる方法	71	4.4%	4.7%	74.7%
⑫耐性や適応性を育てるための方法	232	14.4%	15.2%	89.9%
⑬性教育	22	1.4%	1.4%	91.3%
⑭男女共同参画について	4	0.2%	0.3%	91.6%
⑮学校不適応(不登校、ひきこもり、いじめ、心身症など)	66	4.1%	4.3%	95.9%
⑯虐待	3	0.2%	0.2%	96.1%
⑰非行	33	2.0%	2.2%	98.3%
⑱発達障害	17	1.1%	1.1%	99.4%
⑲学習の必要はない	9	0.6%	0.6%	100.0%
合計	1524	94.5%	100.0%	
欠損値 合計	88 1612	5.5% 100.0%		

◎結果数値（パーセント＝％）は、小数第2位を四捨五入して第1位まで表示しています。

問19 以下の教育科目について、家庭と学校のどちらでつけさせるほうがよいと思いますか。

上段：回答数/下段：構成比

	家庭で	どちらかとい えば家庭で	どちらかとい えば学校で	学 校	その他・ 無 回 答	計
A 基本的生活習慣（例えば、洗顔、自分で起床、あいさつなど）	1375 85.3%	201 12.5%	13 0.8%	2 0.1%	21 1.3%	1612 100.0%
B 生活体験（例えば、タオルをしぼる、小さな子の世話、ナイフの使い方など）	967 60.0%	487 30.2%	117 7.3%	18 1.1%	23 1.4%	1612 100.0%
C 自然体験（例えば、海や川で遊ぶ、自然観察、登山など）	374 23.2%	595 36.9%	493 30.6%	114 7.1%	36 2.2%	1612 100.0%
D 自主性（自分の判断で行動する態度）	353 21.9%	572 35.5%	535 33.2%	125 7.8%	27 1.7%	1612 100.0%
E 自制心（感情・欲望などを自分で抑えること）	447 27.7%	680 42.2%	374 23.2%	78 4.8%	33 2.0%	1612 100.0%
F 自立心（人に頼らず、独り立ちして自力でやっというこうとする心構え）	418 25.9%	615 38.2%	456 28.3%	89 5.5%	34 2.1%	1612 100.0%
G 豊かな情操（美しいものを美しいと感じる心）	463 28.7%	642 39.8%	375 23.3%	97 6.0%	35 2.2%	1612 100.0%
H 他人への思いやり	472 29.3%	508 31.5%	439 27.2%	167 10.4%	26 1.6%	1612 100.0%
I 道徳感	286 17.7%	382 23.7%	637 39.5%	273 16.9%	34 2.1%	1612 100.0%
J 社会的なマナー	440 27.3%	575 35.7%	418 25.9%	152 9.4%	27 1.7%	1612 100.0%
K 正義感	360 22.3%	503 31.2%	568 35.2%	144 8.9%	37 2.3%	1612 100.0%
L 人間関係づくり	95 5.9%	172 10.7%	830 51.5%	490 30.4%	25 1.6%	1612 100.0%
M 職業観	137 8.5%	279 17.3%	801 49.7%	369 22.9%	26 1.6%	1612 100.0%
N 性教育	94 5.8%	271 16.8%	892 55.3%	330 20.5%	25 1.6%	1612 100.0%

問20 あなたの日常生活や社会一般に関する次の質問について、どの程度あなたにあてはまると思われますか。

上段：回答数/下段：構成比

	そう思う	ややそう思う	あまりそう 思わない	そう思わない	その他・ 無 回 答	計
A 人生を全体的に評価すると、自分は恵まれていると感じる	519 32.2%	727 45.1%	276 17.1%	72 4.5%	18 1.1%	1612 100.0%
B 自分は普段幸せであると感じている	626 38.8%	709 44.0%	209 13.0%	51 3.2%	17 1.1%	1612 100.0%
C 自分が生きていて良かったと感じることが多い	622 38.6%	705 43.7%	230 14.3%	29 1.8%	26 1.6%	1612 100.0%
D 私の家族の絆（きずな）は強い	724 44.9%	677 42.0%	164 10.2%	29 1.8%	18 1.1%	1612 100.0%
E 私の家庭は、心が和む場である	712 44.2%	670 41.6%	176 10.9%	35 2.2%	19 1.2%	1612 100.0%
F 私は、自分の家庭生活に満足している	580 36.0%	676 41.9%	267 16.6%	66 4.1%	23 1.4%	1612 100.0%
G 私の自宅（建物自体、あるいは部屋自体）は美しい	270 16.7%	637 39.5%	523 32.4%	160 9.9%	22 1.4%	1612 100.0%
H 私の自宅（部屋）には、十分なスペース（広さ）がある	477 29.6%	562 34.9%	346 21.5%	208 12.9%	19 1.2%	1612 100.0%
I 自宅では、自分のプライバシーが守られている	328 20.3%	668 41.4%	423 26.2%	173 10.7%	20 1.2%	1612 100.0%
J 普段、自分が不幸であると感じることが多い	39 2.4%	204 12.7%	729 45.2%	621 38.5%	19 1.2%	1612 100.0%
K 人生をゼロからやり直したいと真剣に思うことがある	156 9.7%	335 20.8%	537 33.3%	568 35.2%	16 1.0%	1612 100.0%
L 私には、人並み以上の財産（経済的）がある	50 3.1%	240 14.9%	638 39.6%	665 41.3%	19 1.2%	1612 100.0%
M 私には人並み以上の収入がある	47 2.9%	237 14.7%	566 35.1%	743 46.1%	19 1.2%	1612 100.0%
N 私は、自分のやりたいことにお金を十分に使うことができる	59 3.7%	247 15.3%	584 36.2%	703 43.6%	19 1.2%	1612 100.0%
O 私の友人関係は人生にとって有意義である	474 29.4%	704 43.7%	334 20.7%	81 5.0%	19 1.2%	1612 100.0%
P 友人と一緒に過ごす時間は楽しい時が多い	643 39.9%	702 43.5%	182 11.3%	67 4.2%	18 1.1%	1612 100.0%
Q 私には親友と呼べる友人がいる	697 43.2%	476 29.5%	281 17.4%	139 8.6%	19 1.2%	1612 100.0%
R 私にとって仕事の内容は楽しいものである（主婦の方は家事）	235 14.6%	629 39.0%	572 35.5%	157 9.7%	19 1.2%	1612 100.0%
S 普段、仕事における人間関係は良好である	362 22.5%	837 51.9%	297 18.4%	80 5.0%	36 2.2%	1612 100.0%
T 職場では、自分の好きな仕事をさせてもらえないことが多い（主婦の方は家事）	105 6.5%	385 23.9%	756 46.9%	341 21.2%	25 1.6%	1612 100.0%
U 私は仕事面で周囲の人に認められている（主婦の方は、家事に対する家族の評価）	214 13.3%	843 52.3%	436 27.0%	94 5.8%	25 1.6%	1612 100.0%
V 普段、自分は健康である	481 29.8%	702 43.5%	313 19.4%	93 5.8%	23 1.4%	1612 100.0%
W 時々、体調が悪く日常生活に支障がある	82 5.1%	318 19.7%	573 35.5%	619 38.4%	20 1.2%	1612 100.0%
X 私には、「自分がやりたいこと」をやることのできる体力がある	375 23.3%	688 42.7%	440 27.3%	86 5.3%	23 1.4%	1612 100.0%
Y 自分は、「不幸な運命」に生まれた人間である	37 2.3%	158 9.8%	457 28.3%	934 57.9%	26 1.6%	1612 100.0%

問21 あなたの日常生活や社会一般に関する次の質問について、どの程度あなたにあてはまると思われますか。 上段：回答数/下段：構成比

	そう思う	ややそう思う	あまりそう 思わない	そう思わない	その他・ 無回答	計
A 私は普段自分のしたいことを家族に言うことができる	529 32.8%	646 40.1%	333 20.7%	86 5.3%	18 1.1%	1612 100.0%
B 私の家族は私の意見を尊重してくれる	431 26.7%	784 48.6%	308 19.1%	70 4.3%	19 1.2%	1612 100.0%
C 重大な問題があったときには家族で十分に話し合えることができる	620 38.5%	672 41.7%	243 15.1%	58 3.6%	19 1.2%	1612 100.0%
D 家族内で誤解があったときは、納得できるまで話し合う	440 27.3%	699 43.4%	366 22.7%	88 5.5%	19 1.2%	1612 100.0%
E 私の家族は私を大切にしてくれる	696 43.2%	633 39.3%	211 13.1%	51 3.2%	21 1.3%	1612 100.0%
F 日常生活上で、家族との連絡は密に取っている	611 37.9%	685 42.5%	250 15.5%	46 2.9%	20 1.2%	1612 100.0%
G 私の家族は大切なことを話し合っていると思う	518 32.1%	728 45.2%	288 17.9%	58 3.6%	20 1.2%	1612 100.0%
H 私の家族は私に協力的である	565 35.0%	713 44.2%	251 15.6%	61 3.8%	22 1.4%	1612 100.0%
I 私は自分の時間を持つことができる	469 29.1%	694 43.1%	331 20.5%	97 6.0%	21 1.3%	1612 100.0%
J 家族内で問題が起きたときは、いつも同じやり方で解決ができる	158 9.8%	703 43.6%	619 38.4%	109 6.8%	23 1.4%	1612 100.0%
K 家族と一体感を感じる	431 26.7%	778 48.3%	305 18.9%	77 4.8%	21 1.3%	1612 100.0%
L 家族に期待しても無駄だと思う	80 5.0%	259 16.1%	616 38.2%	638 39.6%	19 1.2%	1612 100.0%
M 私の家族は私の話を聞いてくれない	35 2.2%	204 12.7%	624 38.7%	729 45.2%	20 1.2%	1612 100.0%
N 私の家族の関係はうまくいっていると思う	650 40.3%	694 43.1%	187 11.6%	61 3.8%	20 1.2%	1612 100.0%
O 私は家事をするのにあたって、家族の協力を十分得ていない	76 4.7%	296 18.4%	687 42.6%	526 32.6%	27 1.7%	1612 100.0%
P 私は自分の生きがいを目指したいと思う	195 12.1%	498 30.9%	706 43.8%	193 12.0%	20 1.2%	1612 100.0%
Q 私の家庭での役割は、他の家族(人)よりも大変だ	172 10.7%	313 19.4%	761 47.2%	347 21.5%	19 1.2%	1612 100.0%
R 家庭での大変な仕事はいつも自分がやらなければならない	222 13.8%	395 24.5%	700 43.4%	272 16.9%	23 1.4%	1612 100.0%
S 私の家族は、私のことをきにかけてくれている	496 30.8%	740 45.9%	299 18.5%	57 3.5%	20 1.2%	1612 100.0%
T 私が落ち込んでいるときは、ほっとさせてくれる家族がいる	706 43.8%	638 39.6%	190 11.8%	57 3.5%	21 1.3%	1612 100.0%
U 私の家族には、頼れるメンバーがいる	713 44.2%	625 38.8%	189 11.7%	64 4.0%	21 1.3%	1612 100.0%
V 私は家族に頼りにされている	497 30.8%	769 47.7%	261 16.2%	65 4.0%	20 1.2%	1612 100.0%
W 自分が暇をたてているときに落ち着かせてくれる家族(人)がいる	505 31.3%	618 38.3%	339 21.0%	131 8.1%	19 1.2%	1612 100.0%

問22 あなたのお子さんについて、あなたは、家庭ではどの程度できていると感じていますか。 上段：回答数/下段：構成比

	かなり できている	どちらかとい えばできている	どちらかとい えばできていない	ほとんど できていない	その他・ 無回答	計
A 自分に与えられた仕事を、工夫を取り入れて行おうとする	107 6.6%	844 52.4%	535 33.2%	102 6.3%	24 1.5%	1612 100.0%
B 自分のことだけでなく、他者を尊重しようとする	166 10.3%	951 59.0%	414 25.7%	56 3.5%	25 1.6%	1612 100.0%
C 自分と地域との関連を考えながら生活しようとする	82 5.1%	803 49.8%	571 35.4%	128 7.9%	28 1.7%	1612 100.0%
D 自分の良さをよく知っている	120 7.4%	896 55.6%	516 32.0%	54 3.3%	26 1.6%	1612 100.0%
E 友達と力を合わせて行動する	320 19.9%	1033 64.1%	209 13.0%	27 1.7%	23 1.4%	1612 100.0%
F 地域の中のいろいろな役割と自分の役割のつながりを意識して生活する	70 4.3%	701 43.5%	675 41.9%	138 8.6%	28 1.7%	1612 100.0%
G 将来の夢を持ち、今の課題を自ら解決しようとする	146 9.1%	644 40.0%	636 39.5%	159 9.9%	27 1.7%	1612 100.0%
H 生活面や学習面の苦手なことに気付き改善しようとする	118 7.3%	639 39.6%	673 41.7%	157 9.7%	25 1.6%	1612 100.0%
I 他人の意見をしっかりと聴き、よりよい発想を生み出そうとする	109 6.8%	790 49.0%	575 35.7%	111 6.9%	27 1.7%	1612 100.0%

問23 家庭教育支援の在り方について、ご意見がございましたら自由にお書きください。

- 家庭教育に支援が必要なのか。現在どのような支援があるのか逆に知りたいと思う。
- アンケートだけで終わらず、現実的な支援を期待します。
- 子どもの誘拐・殺人など、危ない事件が多い時代ですから、安全に暮らせる地域づくりが大切だと思います。
- 家庭でできることは家庭で教育していくのが本来の姿で、学校にはたよらないようにするべき。地域の力をもっと活用するべき。しかし、家庭教育についての情報は不足しているので、いろいろな方法で得られるように公の機関にお願いしたいです。
- 家庭教育というもののイメージとは違うかもしれませんが、家族が毎日顔を合わせ、一緒に食事する環境が子どもにとっていいし、休日も家族で過ごせるのがいいと感じています。
- 子育てには金がかかるので、その辺を考えてほしい。少子化だと言っているが、子育てに金がかからないのであれば子どもがもっと欲しいと思っている人はたくさんいる。子育て援助を考えなければ、子どもが増える訳はありません。
- 自分自身、親以外の教育を受けた事がないので、体験や情報などを通して、家庭教育を学んでみたいと思います。家庭教育支援は必要

でとても重要な事だと思いますので、是非、地域で取り組んでいただきたいと思います。

- 家庭における教育力の向上が不可欠なものと思います。そのための情報提供をお願いしたいです。ただ、現在は両親が働いている世帯がほとんどですので、研修会に限らず、チラシやネットを使った情報提供を希望します。
- スポーツ及びその陪審等に関する地域サポーター的存在があると、地域の活性化が図られると考える。
- 子どものしつけよりも親のしつけが必要な気がします。マナーを守れない、非常識でわがままな親が多くなったと思います。自分も親として気をつけたいと思います。
- 単に学校行事、特にレクetcを増やしても無意味です。それよりも人としての共育・共栄・共生といった、倫理観を親とか大人・子どもなどと区別することなく、万物平等な、人らしい家庭という基礎社会を創るという理念を(少なくとも)私は、子どもたちへ伝えていっております。※夫婦は一对の反射鏡であるとも考える日々であり、まずは夫婦仲良くないといけませんし、それが最高の共育かとも一方で思うところです。
- アンケートを終えて、家庭の在り方をつくづく考えさせられました。学校と家庭の連携が大切ではあるが、家庭がしっかりしないと連携もとれないような気がします。家庭・地域の教育の向上が今必要とされていると思います。
- 全く子どもたちにいじめがない学校生活を送らせていくようにお願いしたい。
- 子育てサポートセンターをもっともっとアピールした方がよいと思う。
- 財政的、金銭的支援が重要だと考えます。希望や考えがあっても、金銭的なものが障害となることが多いと感じます。あれこれ作るより、まずは金銭面での負担を減らす支援があればと考えます。
- 価値観の違いがあって、地域の人から悪影響を受ける気がする。団結力があるといえば聞こえは良いが参加しないと(地域の行事)全体主義的な傾向を匂わせるリーダーが存在しているので不快に思っている。
- 父親がいないせいか、他人から見ると「父親がないから…」と言われる事があり、子どもに対して申し訳ないと思う時がある。(私は子どもが2ヶ月で離婚して実家で生活している)
- 金くれ
- 青森県の自然を生かした親子体験(キャンプ・スキー・釣り)を充実してほしい。特に冬は活動できる範囲が限られるので、よろしくお願ひします。
- 自身の家庭には概ね満足していますが、社会全体での統計は気になります。地域も含めて、皆さんの意見や満足度等を知る情報が欲しい(知りたい)と感じます。
- 子どもが幸せに生活できる社会を作ってほしい。
- 学校では今の世の中において必要な事を学ばせてほしいと思います。協調性等、生きていく上で、一人では生きていけないと思うので。我慢する事や「人の話」をキチンと聞ける事など、当たり前ができていない若い子が多いと思うので、そこはしっかりとやっていただきたい。
- 情報ばかりが多い世の中で、コミュニケーション力、人と人がつながり協力しあうことが足りなくなり、不安ばかりが多く、学校でも人間関係でもめんどろな事はさて、個人の意見を尊重することができない世の中です。学校教育は少しずつかわり道徳な事への学びが増えてきてよいと思いますが、教師、PTAがそれをできないのに、子どもに何を教えるのだろうかと思ひます。
- 問19は難しい問題でした。学校or家庭ではなく、どちらでも育んでいけるようにしたいものですね。問20、21も、現状に満足していれば、何も悲観的にならないと思ひました。雪・雨の日でも、子どもたちが子どもたちだけで移動できる範囲(学区内)で、無料で遊べる場所を作ってほしいです。
- 現代の家庭教育支援に取り組んでもらいたい。(多様な取り組み)皆で夕食を毎日かこむ等、理想論だけ語ってほしくない。ちなみにうちは、共働きでどちらも不規則勤務(泊まりあり)、旦那は盛岡へ通勤です。
- 生活習慣、体験は、基本的には家庭で教えなければならないと思うが、学校・地域の協力によって(助言など)さらに定着するようになると思う。社会的モラル・マナーもまた、親が手本となり、教えなければならないのだが…。子どもだけでなく親も一緒にになり、学べる機会が必要だと思う。子どもも家庭での親(行動)と学校での顔があるので、学校だけに頼らず、しっかりと子どもとの会話をし、見守っていかなければならない。忙しい生活の中でも、子どもを見つめる又は、触れ合う機会や場所を多く企画実行していただけたらと思う。
- 家庭教育はすごく難しい分野だが、子どもたちの幸せのためにがんばってほしい。家庭に悪者探しをするのではなく、足りない所を支える形でやってほしい。それはその子どもと親によって必要なものは違うと思うが、必要な人はたくさんいると思う。
- 日々の生活にかかる費用が多すぎ、貯金ができないため、これから中学・高校・大学費用を考えると、不安で不安でしょうがない。高校さえ入れられるか不安な日々です。もう少し子育てしやすい環境があればいいと切に願ひます。
- 幼児期にしっかりと親の愛情を受けた子は、学校生活や社会生活を過ごせると、子育てをしてきて感じている事なので、安心して預けて仕事するよりも、1年か2年仕事を休んでもきちんと保障してくれる様な制度を考えてほしい。
- 勉強を家庭で教えるのには限界があり、高学年にもなると難しく、くもんや学研などの場もありますが、高額で子ども3人もいるとなると行かせる事ができず、学習にもついて行けず困っています。土曜日はみんな休みで部活などもありますが、安い料金で遊べる様な場があったらいいと思ひます。
- 子どものしつけについて悩んでいます。毎日同じ事を言われないと行動できない所があります。自分で考え行動できる人間になるには、何と書いて声掛けすればいいのかわからない悩みます。
- 現代の先生方は、親や子ども(生徒)に気を遣いすぎていると思ひます。子どもの悪い所はどんどん叱って欲しいです。その要因として、たぶん親が子ども(自分の子)を守りすぎている事だと思います。親を教育する場(例えば講習会とか)があれば良いのでは?少しの事で虐待とさわぐのは、親が悪いと思ひます。
- 母子家庭なので、金銭面で支援して頂きたい。勉強だけでなく、スポーツの面でも、交通費や宿泊費など、協力して頂けると助かります。
- 本当に家庭での教育支援というものが実際に反映されているのかわからない。
- ありきたりな、たてまえだけの支援ではなく、現実を見極めた上での支援を考案してほしい。子育てをして11年になるが、未だ教育委員会が何をしているのか(必要性)がよくわからない。
- 問21、Jの問いで「家庭内で問題が起きた時は、いつも同じやり方で～」とありましたが、問題解決はいつも同じでない場合が多いと思ひます。少し理解しづらかったです。
- よく学校やその他の場で、チラシやリーフレット、小冊子等を配られることがあるが、まず見ることはない。見たとしても活用できそうもない。大事なことはニュースとして発信し、新聞、テレビ等のメディアで取り上げてもらう方に集中すべきだ。一番の支援は家庭にいられる時間を増やすこと。世の中全体での勤務をみんなで短時間ずつ分け合う方向にもって行ってほしい。
- 北の浜通りじゃない方の公園の整備、設立、道路(歩道)、交通(バス)の便が非常に悪いと思う。町の方だけでなく意見を聞いて取り入れて整備などして欲しい。
- 母子家庭です。金銭的にも余裕はなく、子どものためと思ひ夜勤等をし、なんとか一般家庭のように生活できるようにとがんばっておりますが、がんばり働くと母子家庭の免除(例えば県の扶養手当が減額等)になったりし、生活に困っております。現在、母(私自身)が精神科に通院しており、医師より「仕事は困難な状態」と説明されております。子どもの生活、精神に大きく不安を感じております。
- 結局、公的支援のものは土・日・祝日は休み、夕方5時まで等と利用できるものが少ない。つまり親子共々いろいろ犠牲をはらって生活をしている人がほとんどだと思ひます。学校だって「ゆとり教育」とうたっているが、昔のように土曜日も学校があつていいと思ひし、教師もメンタル面が強い人を採用し、モンスターペアレンツなんかには負けないようにしてほしい(教育してほしい)。親と先生だったら、やっぱり先生の言うことを聞き、仕事を休めない分、学校でいろいろやってほしい。そうしたら帰ってきてからも親子の会話がはずんだりするのではないだろうか。
- 3人子どもがいますが、より良い教育をと思うと経済的に苦しいので、何か工夫がある教育支援があると助かります。
- 親は子育てしながら成長し、子はそんな親をみて育つと思ひています。親も子も足りない所を助け合うよう、「幸せ」と感じるのは人それぞれ

れ違いますから、常に明るく笑のある家庭でありたいと心がけというか、自然と笑っています。健康であればそれだけで「幸せ」です。命の大切さも、日々の生活の中で感じるものだと思います。

- 発達障害等についてもっと身近に簡単に受付してくれる場所などがあれば嬉しいです。児童相談所はとっつきにくいですし、専門病院は予約も取れづらいし…。
- 将来の夢や様々な職業を知る機会を設けたく、話し合うが、子どもにはピンときていない様子…。色々な体験をさせたいので、社会見学を家庭でもできる企画があったり、キッズニアのような場所が東北にもあればいいと思う。
- 近所に子どもたちが遊べる場所がないので、遠くまで歩いていたりしている。公園や児童館などがあればいいと思う。親が遅くまで共働きしているところの子どもは、いつもウロウロしていかわいそうに思います。実際さみしいと言っていました。
- テレビで母子家庭の子を集め無料で勉強をみってくれるところがあるということをやっていました。私達が住むところでもそういう場があればすごく助かります。そういう情報があれば知りたいです。
- 自分の子どものことは、評価が厳しいかもしれません。
- 家庭教育の支援も勿論大切だが、収入も少なく、税金は上がり、生活が苦しい為、高校の授業料無償化を継続したり、安心した生活ができる、心もよりおだやかに過ごせると思う。
- 「家庭教育支援」と言っても、それぞれの家庭で必要としている事柄が違うと思うので、「勉強面」「生活面」「体の発達面」「心の発達面」など、もっと具体的な支援内容を提示してほしい。それらの情報提供の方法の種類を、できるだけ多くしてほしい。学校のイベントについての「暗黙のルール」は、なるべくマニュアルとしてほしい。「地元に住んでいる人」のみの情報ではなく、他県から引っ越してきた者にもわかりやすい学校についての情報を望む。
- 家庭教育について親が学ぶ機会は少ないと思うので、講座等あるならいろいろ情報発信してもらいたい。親が学ばなければ子どもに教えられないと思う。
- 家庭教育支援は大変ありがたいと思います。教師の質が悪すぎると思います。学校だけで学習内容が理解できず(教え方が良くない方が多い)塾が必要になります。家庭(経済面)での負担を減らすためにも、教師の質の向上が家庭支援にもつながると思います。
- 家族でコミュニケーションをとっていくことが大事なんだと思いました。
- 教育の在り方で社会に出ていく事に対しての人間との接し方、あいさつも教育してほしい。勉強面だと、もっと時間をかけて教えてほしい。できる子はのびるが、できない子はイヤになり、勉強が嫌いになるのでは。
- 子どもの事については、否定的な回答ばかりになりましたが、反抗期ということもあるかもしれません。家庭教育といっても、仕事を持つ母親と専業主婦では、時間的余裕、精神的余裕がかなり違うのでは…と思います。
- 我が家は母子家庭(約5年前)ですが、長男(現在高校1年)の受験の際にボランティア学習会の紹介を頂き、今も時々参加しています。思春期の長男と冷静にむき合ってくれたサポートセンターの方(アスパム2F)や、学習会の方々のおかげで、今の長男がいます。母親一人ではどうしようもできない問題を周囲の人たちの力で助けて頂き感謝しています。今後も子どもの成長過程でのご支援よろしく願います。
- いじめ問題等、解決できているのか、エスカレートしていないのか、現在の学校では知らぬふりしている先生が多いのではないのでしょうか。もうすこし目を向けてほしいと思いました。自殺してしまったら終わりです。
- 思春期になると、親との思いとは裏腹に、話を聞いてくれない。家庭教育の大切さを思うが、うまく子どもに伝わらないというしんどさがある。そこを補ってくれる人がいてくれたらと思う。
- 学習面での支援が必要。ひとり親は特に。市でやっているようだが、広く知られていないし、人数も限られている(らしい)。もっと利用しやすければいいのに。
- 小・中学生の子どもより、高校生以上の子どもにどこまで親が介入して良いものか悩んでいます。
- 教育に一生懸命な親と、そうでない親がいる。様々な教育支援事業があるのに、それを利用しているのは前者の親ばかりで、後者の家庭にはその恩恵は全く届いていない。本当に支援が必要なのは後者の子どもだよ。
- キャリア教育について、いまいちピンとこない。なんとなくはわかっているがあいまいだ。
- 気軽に相談できる場所があるといいと思います。役所関係は土日が休みなので(保健センター等)土日でも利用できる場所がそばにあればいいです。子どものことで同じ悩み事(不登校等)がある親の交流の場があるといいです。(情報交換の場)以前からあるのならば、どこにあるのか等、広報紙を作ってほしいです。
- いつでも相談できる場所(電話)があれば良いですね。
- 核家族が増えている中で、祖父母との生活は便利な点もあるが、思春期を迎えている子にとって、老人のおしつけがましい言動がイライラを増長させているように思われる。必ず迎えるべき年代ではあるが、自分もいつかは歳をとり、若い者にうとまれていくという事実を理解できて行動できる大人へ成長して欲しいと、毎日年代別の考え方の違いに頭を悩ませている。答えがはっきりとない事なので、自分たちのやり方を確立させたいと願っている。
- 学校は土日休み、しかし、親の仕事はそうはいかない事が多いです。部活など、土日の送迎が多く、仕事優先とはいきません。市職員のように土日休みの仕事が増えることを望みます。みんなこの親も、子どもの頑張っている姿を見たいと思います。
- 夫のアンケートをみましたが(問22についてだけ)仕事で忙しく子どもとほとんど接する時間がないため、全く子どもの頑張りを理解してないだんと思いました。
- 子どもが、というよりもまずは親である自分の姿を見直すことが、善い家庭教育の在り方かもしれないと思う。子育てに悩む人が孤立せず、オープンにざっくばらんに話せて、私だけでないんだと、心を軽く持って家族に明るく接することができればいいと思っています。
- 家庭教育は規則正しい生活と毎日の学習の2つがほぼすべてと考えている。その他の事柄は子ども自身、様々な所で身につけることができる。最近、大阪府(だったかな?)で行っているように、塾に通えない子どもたちにボランティアで学習を教える取組があればいいと思っている。学習能力の向上教養にふれるという事は、一度きりの講座よりも有意義だ。国語、数学、英語は青森の子どもたちの能力をさらに上げなければと思っている。また、最近学校の出前講座で、人権について講義を聞くが、学校の道徳で十分と思う。人権団体のかたよった思想に染まらない心配。
- 核家族で子どもが多くて、父親が出張でほとんど家にいないなどの家庭(母親)に対しての手助けがほしい。(一人(母親)で3人の子育てをするには、今までも大変だったし、これからも大変だと思うから。)
- 共働きの家が増えて、子どもとのコミュニケーションがとりにくくなっていると思います。子どもは部活で忙しく、親は土日休みなく働いていると、夜しか時間がとれないのは事実。それでも、帰って来たらお話をしようと思いがけてます!! ※共働きで夜まで働いていると、家に子どもだけをおいておくのは心配なので、預かってくれる場所があればなあ〜って思います。
- 家庭教育はすべて親や祖父母の考え方に左右されると思います。行政で支援といっても限界があります。親が、自分が育ててもらった方法や人生で学んだもので教育するしかないと思います。だから、親はしっかりしなければいけないのです。
- 孫の成長を楽しみにして、頑張っておりますが4人育て12年になります。上の3人の孫は高校を卒業して自立しました。小さい孫の養育となりました。70才を超えての子育ては本当つかれました。後4年半は何としても頑張っていきたいと思っております。私達夫婦の年金だけの生活は高校までが精一杯です。
- 人間らしい生活ができないほどに、学校から課題や自主学習を負わされている子どもたちは、中学2年生なら知っていて、できて当然の生活の常識が身につけていない。じゅうぶん学校でがんばっているのだから、家庭では人間らしい生活ができるようにしてほしい。それこそが家庭教育支援ではないだろうか。
- 家庭のしつけを学校にまかしていることに気づいていない保護者が多いので、まずそれに気づくような情報を与えることが大切だと思います。
- 子育ての悩み等、相談ができる窓口(tel)がほしい。小学入学前は子育て相談等があるが、中学生の子どもを持つ親の子育て相談はどこにすればいいのかわからない。

- あくまで、国や市の支援に興味や期待はしない。期待してもムリと言った方がいいのでは…。そのおかげもあり、主としての「かくご」が自分自身にできた。いつも楽しく、生きていける。国や市の制度のおかげではない。あくまでも、地域、祖父母、周りの人のおかげです！
- 学年、担任が変わると色々和家庭学習も変わり、一貫性がない。学校との距離がある。担任から子どもが暴力を受け続け、病院に通院しているので、学校による「いじめ」を受けている子どもへのフォローを行ってほしい。法務局や人権相談に問い合わせても「教育委員会が校長に」と言われるが、対象が担任なのに本当に対応してもらえるのかもわからず困っている。
- 今年春より子どもが不登校きみ(起立性低血圧)なので、これからのことが心配です。情報・相談をするところなどもっとほしいです。病気のことについて、勉強の遅れ・進路について、体調不良の長期化による心のサポートについて。
- コミュニケーションをとることが必要(世間・家族)
- 社会の経済状態と家庭教育との間には関連がかなりあると考えます。経済状態を良くする事によって、子どもと関わる時間を長く持てるため、家庭教育支援の重要性は下がっていくと思います。
- 不審者が悪さをしている事件がよく聞こえてくる。平日、子どもが一人になる場面が怖いと感じる。支援が可能であればぜひ検討をお願いしたい。
- 子どもは親をみて育つと考えます。私は常に子どもから観察されていると感じながら、最良の手本でありたいと願い、卒直に自分の考えを伝え理解してもらえる様にしています。家庭教育ができない家庭に関しては、サポートするべきである。しかし、そのような家庭では情報を受けても発信する方法や手段が理解できない事もあるのではないかと。
- 家庭教育、生涯学習、社会教育、目的マナー、子どもたちの体験できるところ、考えてほしいと思います。
- 学校の先生との面談は平日が多い為、意見を聴く機会が少なく感じられます。
- 皆それなりに困りながらがんばるから、特に支援はいらない。
- 家庭も学校もお互いに連携をとりながら教育していければ良いのでは。
- 親が常識を持って行動を示せば、講座や研修会は特に必要ないと思います。
- 青森県の子どもたちは、都会に比べるとまだ幼く、素直であると感じる。その面を継続できるように学校での教育をしてほしい。
- 各家庭の状況に合わせて、家庭教育支援を行うことを考えると、INPUTが課題で結果に(ニーズに)結びつきにくいと思う。アンケート結果を分析し、効果が大きいものから取り組み、結果を出していけると、以降の活動にもつながり、細かいニーズにも対応できるように思います。現代が移りゆく中で難しいとは思いますが…。
- 学校が子ども一人ひとりと向き合ってくれない。学校が子ども、家庭に何を求めているのかわからない。子どもの自尊心を傷つける教育はやめていただきたい。青森県はどこでもこうなのですか？私達は県外出身者です。

「本アンケート調査についての意見」

- 意味内容がわからない。多すぎる。
- 朝6時から夜8時まで働いてます。1か月の休みは4回、少なくて2~3回、あんたらが言ってる家庭教育の意味すらもわかりません。今の学校の先生のやり方もすべて、納得がいかない。先生のレベルが低いと思う。あんたらはロボットか？まるで意味がわからん。何がしたいの？金の亡者か？いろいろ聞いているが実現することは何一つありません。税金のムダ使いか？
- アンケートには答えたが、このようなアンケートを行う意味がわからない。子どものことなのか親なのか、中途半端な感じがする。もっと取り組む事があるのではないかと。
- 質問が難しい。
- アンケートの質問がわかりづらい。
- 子どもの自我がない場合が多いので質問が理解できない。現実にあったキャリア教育の質問にするべき。
- 質問が抽象的すぎる。質問に対する回答が的を射ていないものが多い。また、選択肢にあてはまらないものが多すぎる。
- もっとシンプルなアンケートがいいのでは？時間がかかりすぎます。改善をお願いします。
- 質問の仕方が少しまわりくどい感じがする。
- 質問の意味がわからない所がありました。家庭教育支援、これはそもそもどういうものなんですか？
- アンケートそのもの、家庭教育に何が役立つのかわからないものだった。答える時間のムダだと思った。
- 抽象的な質問が多く、答えにくかった。配布対象の兄弟の年齢が、上か下かによっても回答はかわると思う。選択肢にあてはまらない場合があり、「その他」もあると答えやすいです。
- 家庭教育支援の在り方とあるが、今までどんな支援があったのかわからない。何を支援しているか、はっきりと書いてほしい。意見ばかり聞いて、何もしてくれないのなら、このようなアンケート等やる必要がないと思います。
- 問22は少しむずかしい質問でした。10~11才でCFGH等理解できている子どもたちがどれくらいいると思っていますか？
- 答えにくい設問や解答例が多かったです。「特にない」ではなく、その他の意見(回答例にはない)設問は、なるべく近い物を選びました。選択肢以外は「特にない」ではなく他の意見がある質問が多く、かなり本意ではない回答です。選択肢に同じ意見がなければ「ない」というしかないアンケートの取り方はあまり意味がないと思います。
- 「家庭」とひとくりに質問されても色々なメンバーがいるので答えるのに困った。(良好な関係性の人とそうでない人がいる)また、「子ども」とひとくりに質問されても、1人1人ちがうタイプなので答えるのに困った。
- 父親はアンケートが好まないで母親だけ書かせていただきました。
- 家庭教育支援の在り方に今回のアンケート内容がどう活用されるのかわかりません。(特に問20)
- 家庭での教育の1つとして、進路の選び方もあると思います。情報の集め方などを知る機会についての設問も欲しかったです。
- このようなアンケートにより家庭を見つめ直す事ができて良いと思います。家庭では勉強面より、イジメや友人関係、性教育のほうが不安でいっぱいだと思うので、支援方よろしくをお願いします。
- このアンケート結果によって何をしようとしているのかわかりませんが、意味のある質問とは思えません。質問の意味を理解しがたく、頭が痛くなりました。本当に家庭教育が解っている人が作った質問でしょうか？
- このアンケートの意味がよくわかりません。質問の内容が何を意図しているのかわかりません。
- おつかれさまでした。
- 各家庭の在り方を知ってどうなるんですか？意味不明な質問が多すぎ！こんなことをやっても何もかわらないと思う！
- 「問20」は、家庭教育支援と何の関係があるの？「問22」のキャリア教育とは何のこと？このようなアンケートに税金を使うより、他の直接的な支援(？会等)に税金を使うべきでは？
- アホクサイ！学校の先生方を教育した方がいいのではないのでしょうか。くだらない事を言うな、ムダな時間をとってしまった。
- 調査項目が多すぎます。
- 正直何の権利があってここまで家庭につこんだ質問をする。意図がわかりません。
- 何を目的としたアンケートなのか、質問の意図がわからなかった。
- このアンケートの内容に問題があると思う。無記名とあるが表紙の右上にはNoがあるのはなぜ？人並み以上の収入、財産、お金があると幸せ？家庭教育？(お父さん用)に、男女の質問の意味は？
- アンケートによって反映する事ってありますか？質問の内容が分かりづらい。
- 問19に関して両方だと思うのでチェックはしなかった。

学齢期における家庭教育支援の在り方に関する調査 (お父さん用)

【アンケート調査へのご協力をお願い】

青森県教育庁生涯学習課では、一般県民のみなさまのお考えやご意見等をお伺いするため、生涯学習・社会教育総合調査研究として、アンケート調査を実施しており、事業の企画立案のため活用しております。

このたび、学齢期における家庭教育支援の在り方について、小学生・中学生を持つ保護者のみなさまの子育て課題や家庭教育支援に関する要望を調査し、今後の県の取組の参考資料とするものです。

お忙しいところとは存じますが、本調査の趣旨をご理解の上、なにとぞご協力くださいますようお願いいたします。

なお、本調査は、青森県教育庁生涯学習課が調査主体として実施するものですが、アンケートの回収等は、業務の一部委託により、「株式会社サンブラッソ・エイティーブイ」が実施いたします。

【ご記入にあたってのお願い】

- 1 この調査は無記名です。(あなたのお名前を書くところはありません)
- 2 調査票は「お父さん用」と「お母さん用」があります。必ず、保護者の方それぞれがご回答くださるようお願いいたします。(ひとり親の場合は、お一人で結構です)
- 3 回答は、この調査用紙に、直接ご記入ください。
- 4 本調査は、回収後速やかに統計的に処理を行いますので、個人の内容を公表することはありません。
- 5 調査結果は、統計資料として事業報告書等にまとめ、公表させていただきますので、予めご了承ください。
- 6 回答いただきました調査票は、「お父さん用」と「お母さん用」を一緒に同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、平成26年10月3日(金)までに投函してくださるようお願いいたします。

【調査実施に関するお問い合わせ先】

株式会社サンブラッソ・エイティーブイ

〒038-0011 青森市篠田二丁目3-17 担当者 木山

電話 017-762-7010 受付 平日 9:00~17:00

青森県教育庁生涯学習課

〒030-8540 青森市新町2丁目3-1 担当者 企画振興グループ 三上

電話 017-734-9889 受付 平日 8:30~17:15

選択肢の番号を選ぶ場合には、その番号を口にご記入ください。複数の回答をする場合、カッコなどのスペースが設けられている場合も、口にて全てご記入ください。

あなたのことについてお知らせください。

問1 あなたの性別をお知らせください。

- ① 男性 ② 女性

問1

問2 あなたが生まれた年をお知らせください。

- ① 昭和 ② 平成 () 年

問2

問2

年

問3 お住まいの地域はどこですか。

() 市・町・村

問3

市・町・村

問4 本調査票を持ってきたお子さんの学年をお知らせください。

- ① 小学校5年生 ② 中学校2年生

問4

問5 本調査票を持ってきたお子さんからみて、あなたの続柄は何ですか。

- ①父 ②母 ③祖父 ④祖母 ⑤おじ・おばなど

問5

問6 あなたは現在、パートやアルバイトを含め、収入を伴う仕事をされていますか。

- ①している(働いている) ②していない(働いていない)

問6

問7 あなたの現在の職業は、大きく分けて、次のどれにあたりますか。

- ① 会社経営者・役員
② 会社員(契約社員や派遣社員を含む)、団体職員
③ 公務員
④ 自営業、家族従事者
⑤ 臨時雇用・パート・アルバイト・内職
⑥ その他

問7

問8 あなたを含めて、ご家族は何人ですか

問8

問9 あなたのご家族はどなたですか。あなたから見た続柄であてはまる番号をすべて選んでください。

- ①配偶者 ②実父 ③実母 ④義父 ⑤義母
⑥兄弟姉妹 ⑦子ども()人 ⑧その他

問9

問9 子ども()人

問10 一緒に住んでいない家族がいましたら、あてはまる番号をすべて
選んでください。

- ①配偶者 ②実父 ③実母 ④義父 ⑤義母
⑥兄弟姉妹 ⑦子ども（ 人） ⑧その他

問10
問10 子ども（ ）人

問11 あなたの家族の中で、平日や休日に主に子育てに関わっている人は
誰ですか。

- 【平日】 ①父 ②母 ③祖父母、おじ・おばなど
【休日】 ①父 ②母 ③祖父母、おじ・おばなど

問11【平日】
問11【休日】

問12 あなたは、平日や休日に子どもとふれあう時間はどれくらいあり
ますか。

- 【平日】 ①1時間未満 ②1～2時間未満 ③2～3時間未満
④3～4時間未満 ⑤4時間以上
【休日】 ①1時間未満 ②1～2時間未満 ③2～3時間未満
④3～4時間未満 ⑤4時間以上

問12【平日】
問12【休日】

問13 本調査票を持ってきたお子さんは、朝食や夕食を誰と一緒に食べる
ことが多いですか。

- 【朝食】 ①家族全員と ②家族のどれか大人と ③兄弟姉妹だけで
④子どもひとりで ⑤食べない
【夕食】 ①家族全員と ②家族のどれか大人と ③兄弟姉妹だけで
④子どもひとりで ⑤食べない

問13【朝食】
問13【夕食】

家庭教育（子育て）支援についてお知らせください。

問14 あなたは、どのような家庭教育（子育て）支援があればよいと思いますか。
あればよいと思う順に、あてはまる番号を2つ選んでください。

- ①親の役割やしつけの仕方などを学ぶ講座や研修会
②子どもとの体験や交流を取り入れた講座や研修会
③子どもの家庭での学習習慣を身に付けさせる場や機会
④子育て中の親と親しくなれる場や機会
⑤地域の人と親しくなれる場や機会
⑥身近で気軽に相談できる場や機会
⑦家庭訪問し、相談や話し相手になってほしい
⑧家庭教育（子育て）についての情報が知りたい
⑨子どもが安全安心に過ごせる場所
⑩子どもを預かってくれる場所
⑪地域みんなで子育てする社会環境づくり
⑫特にない

問14 一番目に あればよい 支援

問14 二番目に あればよい 支援

問 1 5 家庭教育について知りたい情報はどんなことですか。知りたい順にあてはまる番号を2つ選んでください。

- | | |
|------------------|----------------|
| ①子どものしつけ | ②子どもの体の健康・発達 |
| ③子どもの心の健康・発達 | ④いじめ・不登校・ひきこもり |
| ⑤子どもの性 | ⑥子どもへの虐待 |
| ⑦子どもとのコミュニケーション | ⑧子どものほめ方・叱り方 |
| ⑨携帯電話やインターネットのこと | ⑩講座、研修会に関すること |
| ⑪相談窓口 | ⑫子どもや親の交流の場 |
| ⑬特にない | |

問 1 5
一番目に
知りたい
情報

問 1 5
二番目に
知りたい
情報

問 1 6 あなたは、家庭教育に関する情報をどのようにして得ていますか。得ている順にあてはまる番号を2つ選んでください。

- | | |
|-----------------|--------------|
| ①家族から | ②友人から |
| ③近所の人から | ④ポスター・チラシ |
| ⑤テレビ・ラジオ | ⑥新聞 |
| ⑦雑誌・書籍 | ⑧回覧板・広報紙 |
| ⑨インターネット、ホームページ | ⑩携帯電話、SNS |
| ⑪学校から | ⑫講座や研修会で |
| ⑬子育てサークル | ⑭子育てサポートセンター |
| ⑮情報は得ていない | |

問 1 6
一番目に
得ている
情報

問 1 6
二番目に
得ている
情報

問 1 7 あなたは、家庭教育に関する情報をどのようにして得たいと感じていますか。得たい順にあてはまる番号を2つ選んでください。

- | | |
|-----------------|--------------|
| ①家族から | ②友人から |
| ③近所の人から | ④ポスター・チラシ |
| ⑤テレビ・ラジオ | ⑥新聞 |
| ⑦雑誌・書籍 | ⑧回覧板・広報紙 |
| ⑨インターネット、ホームページ | ⑩携帯電話、SNS |
| ⑪学校から | ⑫講座や研修会で |
| ⑬子育てサークル | ⑭子育てサポートセンター |
| ⑮情報を得たいと感じていない | |

問 1 7
一番目に
得たいと
感じる情報

問 1 7
二番目に
得たいと
感じる情報

家庭の教育力についてお知らせください。

問18 子どもを育てるうえで、親にとって特に大切だと思う学習は何ですか。必要だと思う順にあてはまる番号を3つ選んでください。

- ①基本的な生活習慣の定着
- ②子どもの自立心の育て方
- ③子どもとのコミュニケーションのとり方
- ④親としての生き方
- ⑤夫婦に関すること
- ⑥家族に関すること
- ⑦社会的モラル
- ⑧子どもの発達段階
- ⑨ライフスタイル
- ⑩地域活動
- ⑪自然体験を充実させる方法
- ⑫耐性や適応性を育てるための方法
- ⑬性教育
- ⑭男女共同参画について
- ⑮学校不適応（不登校、ひきこもり、いじめ、心身症など）
- ⑯虐待
- ⑰非行
- ⑱発達障害
- ⑲学習の必要はない

問18
一番目に
必要だと
思う学習

問18
二番目に
必要だと
思う学習

問18
三番目に
必要だと
思う学習

問19 以下の教育項目について、家庭と学校のどちらでつけさせるほうがよいと思いますか。あてはまる程度を示す数字を○で囲んでください。

		家庭で	家庭で どちらか といえば	学校で どちらか といえば	学校で
A	基本的な生活習慣（例えば、洗顔、自分で起床、あいさつなど）	1	2	3	4
B	生活体験（例えば、タオルをしぼる、小さな子の世話、ナイフの使い方など）	1	2	3	4
C	自然体験（例えば、海や川で遊ぶ、自然観察、登山など）	1	2	3	4
D	自主性（自分の判断で行動する態度）	1	2	3	4
E	自制心（感情・欲望などを自分で抑えること）	1	2	3	4
F	自立心（人に頼らず、独り立ちして自力でやっという心構え）	1	2	3	4
G	豊かな情操（美しいものを美しいと感じる心）	1	2	3	4
H	他人への思いやり	1	2	3	4
I	道徳感	1	2	3	4
J	社会的なマナー	1	2	3	4
K	正義感	1	2	3	4
L	人間関係づくり	1	2	3	4
M	職業観	1	2	3	4
N	性教育	1	2	3	4

あなたの日常生活や社会一般に関するご意見を伺うもので、正解などはありません。
ご自身の意見でお答えください。

問20 次のAからYまでの質問の文章が、どの程度あなたにあてはまると思われますか。
あてはまる程度を示す数字を○で囲んでください。

		そう 思わない	あ ま り そ う 思 わ な い	や や そ う 思 う	そ う 思 う
A	人生を全体的に評価すると、自分は恵まれていると感じる	1	2	3	4
B	自分は普段幸せであると感じている	1	2	3	4
C	自分が生きていて良かったと感じることが多い	1	2	3	4
D	私の家族の絆（きずな）は強い	1	2	3	4
E	私の家庭は、心が和む場である	1	2	3	4
F	私は、自分の家庭生活に満足している	1	2	3	4
G	私の自宅（建物自体、あるいは部屋自体）は美しい	1	2	3	4
H	私の自宅（部屋）には、十分なスペース（広さ）がある	1	2	3	4
I	自宅では、自分のプライバシーが守られている	1	2	3	4
J	普段、自分が不幸であると感じることが多い	1	2	3	4
K	人生をゼロからやり直したいと真剣に思うことがある	1	2	3	4
L	私には、人並み以上の財産（経済的な）がある	1	2	3	4
M	私には人並み以上の収入がある	1	2	3	4
N	私は、自分のやりたいことにお金を十分使うことができる	1	2	3	4
O	私の友人関係は人生にとって有意義である	1	2	3	4
P	友人と一緒に過ごす時間は楽しい時が多い	1	2	3	4
Q	私には親友と呼べる友人がいる	1	2	3	4
R	私にとって仕事の内容は楽しいものである（主婦の方は家事）	1	2	3	4
S	普段、仕事における人間関係は良好である	1	2	3	4
T	職場では、自分の好きな仕事をさせてもらえないことが多い（主婦の方は家事）	1	2	3	4
U	私は仕事面で周囲の人に認められている（主婦の方は、家事に対する家族の評価）	1	2	3	4
V	普段、自分は健康である	1	2	3	4
W	時々、体調が悪く日常生活に支障がある	1	2	3	4
X	私には、「自分がやりたいこと」をやることのできる体力がある	1	2	3	4
Y	自分は、「不幸な運命」に生まれた人間である	1	2	3	4

問2 1 次のAからWまでの質問の文章が、どの程度あなたにあてはまるとお思いますか。
あてはまる程度を示す数字を○で囲んでください。

		そう 思わない	あ ま り そ う 思 わ ない	や や そ う 思 う	そ う 思 う
A	私は普段自分のしたいことを家族に言うことができる	1	2	3	4
B	私の家族は私の意見を尊重してくれる	1	2	3	4
C	重大な問題があったときには家族で十分に話し合うことができる	1	2	3	4
D	家族内で誤解があったときは、納得できるまで話し合う	1	2	3	4
E	私の家族は私を大切にしてくれる	1	2	3	4
F	日常生活上で、家族との連絡は密に取っている	1	2	3	4
G	私の家族は大切なことを話し合っていると思う	1	2	3	4
H	私の家族は私に協力的である	1	2	3	4
I	私は自分の時間を持つことができる	1	2	3	4
J	家族内で問題が起きたときは、いつも同じやり方で解決ができる	1	2	3	4
K	家族と一体感を感じる	1	2	3	4
L	家族に期待しても無駄だと思う	1	2	3	4
M	私の家族は私の話を聞いてくれない	1	2	3	4
N	私の家族の関係はうまくいっていると思う	1	2	3	4
O	私は家事をするのにあたって、家族の協力を十分得ていない	1	2	3	4
P	私は自分の生きがいを追及したいと思う	1	2	3	4
Q	私の家庭での役割は、他の家族（人）よりも大変だ	1	2	3	4
R	家庭での大変な仕事はいつも自分がやらなければならない	1	2	3	4
S	私の家族は、私のことを気にかけてくれている	1	2	3	4
T	私が落ち込んでいるときは、ほっとさせてくれる家族がいる	1	2	3	4
U	私の家族には、頼れるメンバーがいる	1	2	3	4
V	私は家族に頼りにされている	1	2	3	4
W	自分が腹を立てているときに落ち着かせてくれる家族（人）がいる	1	2	3	4

家庭におけるキャリア教育についてお知らせください。

問 2 2 次の質問は、あなたのお子さんについて、あなたのご意見を伺うものです。家庭では、どの程度できていると感じていますか。あてはまる程度を示す数字を○で囲んでください。

		い な い	ほ と ん ど で き て	ど ち ら か と い え ば で き て い な い	ど ち ら か と い え ば で き て い る	か な り で き て い る
A	自分に与えられた仕事を、工夫を取り入れて行おうとする	1	2	3	4	
B	自分のことだけでなく、他者を尊重しようとする	1	2	3	4	
C	自分と地域との関連を考えながら生活しようとする	1	2	3	4	
D	自分のよさをよく知っている	1	2	3	4	
E	友達と力を合わせて行動する	1	2	3	4	
F	地域の中のいろいろな役割と自分の役割のつながりを意識して生活する	1	2	3	4	
G	将来の夢を持ち、今の課題を自ら解決しようとする	1	2	3	4	
H	生活面や学習面の苦手なことに気づき改善しようとする	1	2	3	4	
I	他人の意見をしっかりと聴き、よりよい発想を生み出そうとする	1	2	3	4	

アンケート全般を通して、お気づきの点などをお知らせください。

問 2 3 家庭教育支援の在り方について、ご意見がございましたら自由にお書きください。

質問は以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。

同封の封筒（切手不要）に入れ、平成 26 年 10 月 3 日までに投函してください。